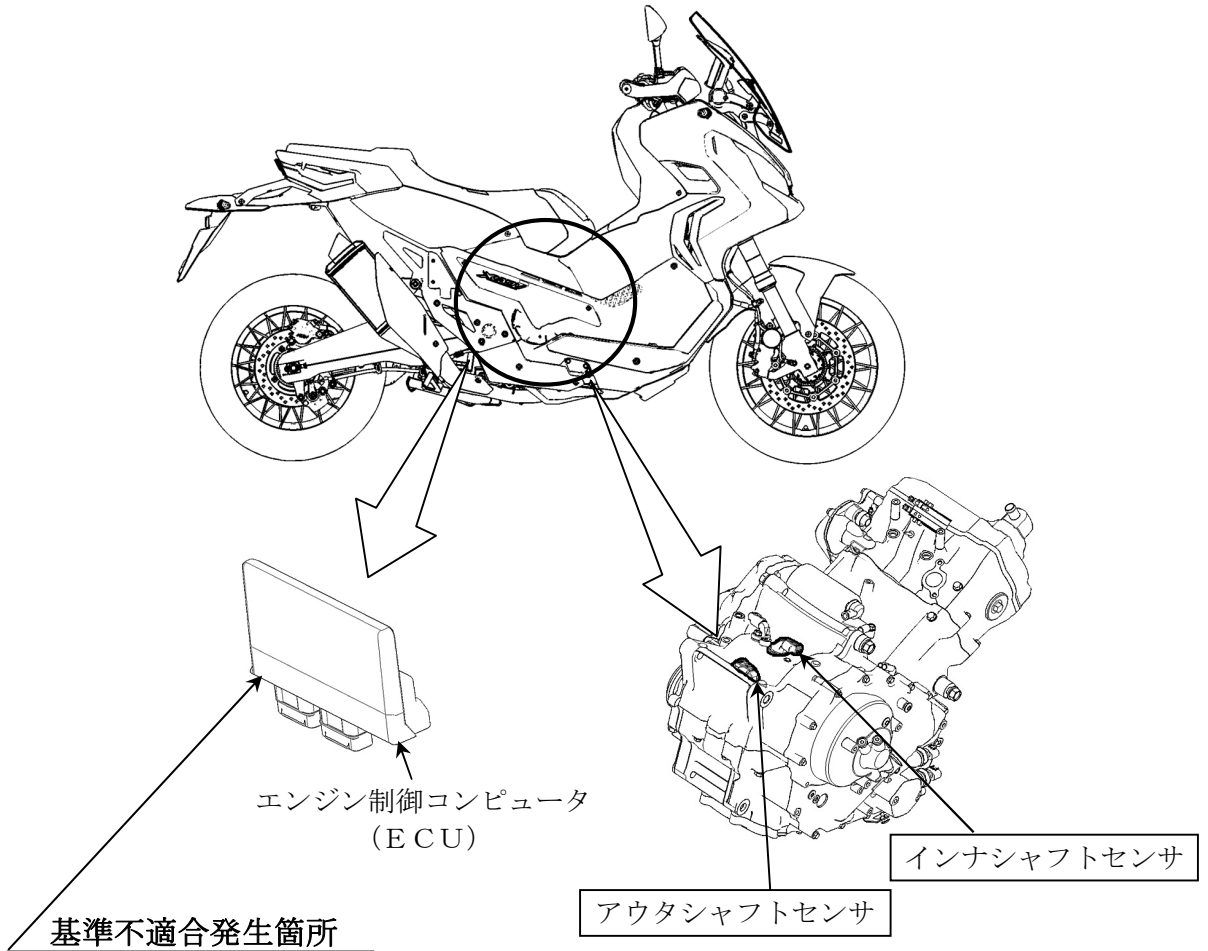


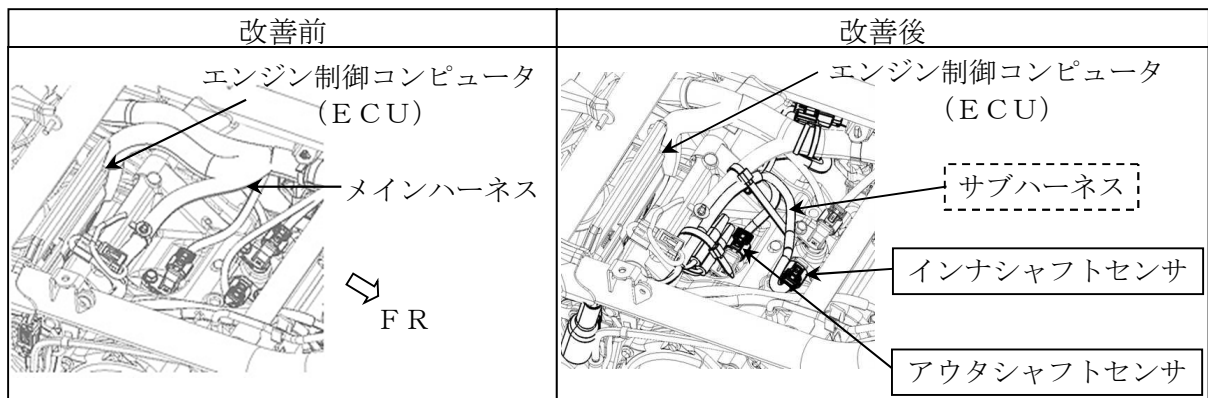
# 改善箇所説明図



6速DCT型自動変速機を搭載した車両において、変速を制御するエンジン制御コンピュータ (ECU) の配置が不適切なため、長時間の低速走行を繰り返すと、エンジンの熱影響により ECU 内部素子の抵抗値が高くなることもある。そのため、インナシャフトセンサ及びアウトシャフトセンサへ供給する電源電圧が低下し、警告灯が点灯するとともにフェールセーフが働き変速ができなくなり、最悪の場合、クラッチが切れ、駆動力が伝わらなくなり、走行不能となるおそれがある。

## 改善の内容

全車両、サブハーネスを追加し、シャフトセンサへ供給する電源電圧回路を変更する。また、電源電圧回路の変更に伴い、インナシャフトセンサ及びアウトシャフトセンサを交換する。



注：  は交換部品を示す。  は追加部品を示す。

識別：車台番号付近に黄色の識別ラベルを貼付する。